令和８年度　江戸川区立大杉小学校　研究構想図

学校教育目標

〇けんこうな子　　◎すすんでとりくむ子　　〇思いやりのある子

（今年度　重点目標）

学校の課題

読むことについて、音読が苦手、算数などで問題文を正しく読めない児童の実態があった。そこで、研究の中心に読むことを据え、児童が豊かに読む力を伸ばしていけるよう本主題を設定した。

研究主題

主体的に文章を読む大杉っ子の育成～説明的文章の学習を通して～

目指す児童像

低学年

時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉えることができる児童。

中学年

段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる児童。

高学年

事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる児童。

研究の内容

＜国語科の授業改善＞

・読む領域での授業改善。（島ごとでの研究授業）

・令和６年度は物語文、令和７年度は説明文、令和８年度は継続して説明文の研究を行う。

・区内指導教諭を年間講師とし、実践的な指導を受ける。

＜学校全体での取り組み＞

・校内漢字検定の実施

・区内団体貸し出しの活用